



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 2374 URL <http://www.saint-care.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 村上 美晴  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務・経理部長 (氏名) 関根 竜哉 (TEL) 03(3538)2943  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有(アナリスト及び機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,376	10.7	232	149.1	228	182.0	113	-
22年3月期第1四半期	4,856	3.7	93	22.4	80	36.3	5	54.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	1,574	22	1,569	96
22年3月期第1四半期	81	62	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	8,574		2,461		28.5		34,035	67
22年3月期	8,028		2,422		30.0		33,498	49

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,446百万円 22年3月期 2,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-	-	0	00	-	-	1,000	00	1,000	00
23年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	0	00	-	-	1,100	00	1,100	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,897	9.1	525	54.8	510	62.4	284	128.0	3,956	70
通期	22,300	8.5	1,140	35.7	1,100	38.5	632	55.8	8,796	89

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	71,886株	22年3月期	71,886株
23年3月期1Q	-株	22年3月期	-株
23年3月期1Q	71,886株	22年3月期1Q	71,886株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . その他の情報 .....	3
( 1 ) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
( 2 ) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
( 3 ) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書 .....	6
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
( 4 ) セグメント情報 .....	7
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は厳しい状況を脱しきれていないものの、設備投資や個人消費は持ち直しつつあり、企業収益は引き続き改善し、景気は緩やかに回復しつつあります。

介護サービス業界では、高齢化の一層の進展により、介護サービス受給者数及び介護給付費が増加し、介護サービス需要は引き続き高まっております。また、介護サービス供給の担い手である介護従事者の人材不足は緩和され、また介護職員処遇改善交付金の支給が前連結会計年度から開始されたことなどにより、経営環境は改善しつつあります。

このような状況の中で当社グループにおいては、訪問系サービスの正社員の稼働管理、及び人材採用の強化と並んで、新規に開設した施設系サービス営業所の早期黒字化を重要な課題として取り組んでまいりました。その結果、売上高は53億76百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は2億32百万円（同149.1%増）、経常利益は2億28百万円（同182.0%増）、及び四半期純利益は1億13百万円（前年同期は5百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

#### ・介護サービス事業

介護サービス事業では、当第1四半期連結累計期間において新規に開設した施設系サービス営業所の早期の集客に向けた営業に取り組むとともに、既存のデイサービス及び小規模多機能型居宅介護等の増客に向けた営業も強化することで、お客様数が増加いたしました。この結果、売上高は52億49百万円となりました。

損益面につきましては、給与制度を改定し、スタッフの処遇をさらに改善したことで人件費が増加しましたが、施設系サービスのお客様数が増加したことで稼働率が向上し、また主に訪問介護サービスにおいて正社員の稼働管理を徹底したことで、収益が増加いたしました。この結果、営業利益は1億95百万円となりました。

#### ・その他

その他では、調剤薬局のフランチャイズ事業を営むメディスンショップ・ジャパン株式会社において前連結会計年度に直営店が減少したことにより売上高が減少しました。この結果、売上高は2億2百万円、営業利益は24百万円となりました。

（注）当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を変更したため、セグメントの業績については、前年同期の比較・分析を行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より5億45百万円（前期末比6.8%）増加し、85億74百万円となりました。

流動資産は、前期末より2億80百万円（同7.1%）増加し、42億34百万円となりました。これは主に資金調達等により現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より2億65百万円（同6.5%）増加し、43億40百万円となりました。これは主に有形固定資産が増加したことやのれんが36百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より1億67百万円（同5.1%）増加し、34億21百万円となりました。これは主に未払法人税等が増加したことや未払金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より3億39百万円（同14.5%）増加し、26億92百万円となりました。これは主に社債が増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より38百万円（同1.6%）増加し、24億61百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、平成22年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積を考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 3 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### 4 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税引前四半期純利益に重要な税務調整を加えた後の課税所得を基に未払法人税等を算定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 5 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、経常利益が3,218千円、税金等調整前四半期純利益が12,724千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は9,378千円であります。なお、資産除去債務の算定にあたり、連結子会社における対象となる資産については主に事務所や介護施設の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務が該当しますが、当該債務に関する賃貸資産の使用期間が明確ではなく、現時点では多額の原状回復費用を伴う移転等も予定されていないことから重要な資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該資産に見合う資産除去債務を計上しておりません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,470,865	1,221,854
売掛金	2,450,591	2,370,581
たな卸資産	66,911	66,571
その他	283,380	333,012
貸倒引当金	37,208	37,754
流動資産合計	4,234,540	3,954,266
固定資産		
有形固定資産	956,635	678,956
無形固定資産		
のれん	1,087,223	1,123,932
その他	293,141	304,800
無形固定資産合計	1,380,364	1,428,733
投資その他の資産		
差入保証金	1,346,890	1,309,609
その他	666,925	667,947
貸倒引当金	10,585	10,585
投資その他の資産合計	2,003,230	1,966,970
固定資産合計	4,340,230	4,074,660
資産合計	8,574,771	8,028,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	233,556	276,330
短期借入金	122,000	133,500
1年内返済予定の長期借入金	404,340	369,420
1年内償還予定の社債	510,000	410,000
未払金	1,703,664	1,391,216
未払法人税等	38,192	233,166
賞与引当金	66,287	128,423
その他	343,306	312,001
流動負債合計	3,421,348	3,254,059
固定負債		
社債	695,000	610,000
長期借入金	986,619	990,349
退職給付引当金	354,765	337,190
資産除去債務	9,378	-
その他	646,595	414,834
固定負債合計	2,692,359	2,352,373
負債合計	6,113,707	5,606,433

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,009,839	1,009,839
資本剰余金	841,789	841,789
利益剰余金	597,575	556,297
株主資本合計	2,449,203	2,407,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,516	147
評価・換算差額等合計	2,516	147
新株予約権	8,565	8,565
少数株主持分	5,809	5,855
純資産合計	2,461,063	2,422,493
負債純資産合計	8,574,771	8,028,926

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,856,900	5,376,722
売上原価	4,273,147	4,617,914
売上総利益	583,753	758,808
販売費及び一般管理費	490,468	526,407
営業利益	93,284	232,400
営業外収益		
受取利息	2,053	1,931
受取配当金	1,043	2,629
受取保険金	3,538	2,545
受取家賃	4,297	3,633
補助金収入	-	14,775
その他	3,313	6,303
営業外収益合計	14,247	31,818
営業外費用		
支払利息	17,320	15,996
支払手数料	5,500	-
リース解約損	-	8,071
その他	3,753	11,828
営業外費用合計	26,574	35,896
経常利益	80,957	228,323
特別利益		
補助金収入	-	4,473
特別利益合計	-	4,473
特別損失		
固定資産除却損	979	317
固定資産圧縮損	-	4,473
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,111
特別損失合計	979	11,901
税金等調整前四半期純利益	79,977	220,894
法人税等	78,604	107,674
少数株主損益調整前四半期純利益	-	113,219
少数株主利益又は少数株主損失( )	4,494	54
四半期純利益	5,867	113,164



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	介護サービス事業 (千円)	住宅リフォーム事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,439,814	266,406	150,679	4,856,900		4,856,900
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,808		82,370	84,178	(84,178)	
計	4,441,622	266,406	233,049	4,941,078	(84,178)	4,856,900
営業利益	47,391	8,250	44,626	100,268	(6,984)	93,284

(注) 1 事業区分は、役務及び商品の種類、性質及び提供方法を考慮して区分しております。

2 各区分の主なサービス提供内容

- (1) 介護サービス事業.....訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、居宅介護支援サービス、訪問看護サービス、デイサービス、グループホーム、ショートステイ、有料老人ホーム
- (2) 住宅リフォーム事業.....住宅改修サービス
- (3) その他事業.....人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局、ペット及びペット用品販売、動物病院

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、新規出店に際し、取り扱っているサービスをマーケットに合わせて組み合わせ出店しております。したがって店舗を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「介護サービス事業」を報告セグメントとしております。

「介護サービス事業」は、訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、居宅介護支援サービス、訪問看護サービス、福祉用具販売・貸与サービス、有料老人ホーム、デイサービス、グループホーム、住宅改修サービスなどを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,248,889	5,248,889	127,833	5,376,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	150	150	74,436	74,586
計	5,249,039	5,249,039	202,270	5,451,309
セグメント利益	195,901	195,901	24,602	220,503

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院を含んでおりません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	195,901
「その他」の区分の利益	24,602
セグメント間取引消去	369,344
のれんの償却額	71
全社費用（注）	(357,518)
四半期連結損益計算書の営業利益	232,400

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な発生・変動はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。